

2017年JRCA主催者意見交換会議事録

2017年1月13日（金）

文京シビックセンター3階会議室Cにて

出席：JRCAより西井、佐藤、中島、倉林、染宮、斉藤、伊藤

出席：主催者より七田、平田、中田、原、高木、
山本、上村、小牧、藤田、米谷、長坂、勝田、高桑

1. 各イベントの紹介（前年の反省点と今年度の特徴）

各主催者より本年の開催概要が報告された。

2. 本年度からの主な変更項目について

- ・RPN車両の最低重量が35kgプラスとなり、ウエートの搭載は禁じられているので留意すること。
- ・路面表記方法が変更され、ターマック→舗装、グラベル→未舗装となる。
- ・オブザーバー作業部会制度が導入される。事前のステージチェック、観客導入計画のチェックなどを行い、評価は点数制となる。
- ・SOSトラッキングシステムの検討が継続される。
- ・ブリーフィング資料は公式通知として出されることになった。
- ・イエローフラッグとレッドフラッグの扱いについて。FIAの規則との整合性を検討中。

4. メディアについての要望等

- ・テープ規制を破るメディアはほとんど見受けられなかった。
- ・ラリー経験の少ないメディアが増加傾向にあり、対処法の研究を検討してはどうかという提案が行われた。

5. 観客やファンについての要望等

- ・授乳室やバリアフリーなど、観戦のしやすさを改良していくことを確認した。
- ・JRCA速報に観客動員数を入れられる場合は入れることとなった。

6. 本年度のJRCガイドブックについて

- ・JRCAよりアンケートを送付するので協力を要請した。
- ・シリーズ初頭のラリーに厚めに送付してはどうかという提案があった。

7. その他

- ・シリーズポイントのJ A F掲載のタイミングが非常に遅れていて、なんとかならないかという意見が出た。
- ・共通の申込用紙は制作済。車両申告書、サービス、メディア申請も同様。
- ・J A Fライセンスを持っていない参加者（主に海外からの参加）のポイントについて確認された。
- ・マフラーについて全車写真を撮って送ることになっているが、全主催者が申請の段階で共通した書式を使う提案が行われた。